

令和2年7月豪雨被災地へ 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を派遣



1 はじめに

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)は、大規模自然災害への備えとして、地方公共団体等への支援が行えるよう、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大や二次災害の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するために、平成20年4月に国土交通省で設置されました。沖縄総合事務局開発建設部においても、平成20年6月に緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を発足し、これまで平成28年熊本地震への派遣を皮切りに平成30年7月豪雨での四国地方、令和元年台風19号の東北地方の災害において隊員を派遣し被災状況調査等の支援活動を行ってきました。

2 令和2年7月豪雨

7月3日以降、停滞した梅雨前線の影響で九州北部地方を中心に広い範囲で大雨となり、各地で降水量観測値が史上1位を更新するなど記録的な大雨となりました。

この大雨により、九州地方を中心には河川の氾濫、道路の被災等が発生し、全国35県で死者や負傷者等の人的被害が115名、住居全半壊や浸水被害等の住居被害が18,492棟に及ぶなど甚大な被害となっています。

(消防庁情報8月24日15:00現在)

3 被災地へ TEC-FORCE 派遣



被災状況(熊本県八代市坂本地区_中谷橋)



被災状況(熊本県八代市坂本地区)

月4日から国土交通省近畿・四国地方整備局のTEC-FORCEが派遣され活動を開始し、順次、各地方整備局からも被災地に派遣され活動する中、国土交通省からの派遣要請により沖縄総合事務局からも令和2年7月10日に九州災害対策本部との連絡調整を担当する先遣班2人、被害状況調査班（道路）4人の計6人を第1陣として派遣し、7月11日より熊本県球磨郡相良村の被災状況調査に着手しました。7月17日からは第2陣が同県八代市での支援活動に從事し、7月23日に帰還しましたが、7月23日からの連休中に九州地方が再度、大雨に見まわれたことから、7月27日から第3陣を派遣し、八代市および相良村において被災状況調査等の支援活動を行い、8月3日に無事帰還しました。今回、派遣期間22日、派遣人数18人の隊員で、延べ114日となりました。

また、今回の支援活動では、新型コロナウィルス感染症対策として、マスクの着用及び消毒液の携帯、接觸確認



出発式の様子（次長挨拶）



TEC-FORCE隊員（第1陣）

アプリの利用、日々の体温確認など隊員の体調管理に気を配り活動を行いました。

調査結果は報告書としてとりまとめ被災自治体へ報告しています。
第3陣は、23日からの大雨による被害拡大が懸念されたため、第1陣と第2陣で調査を行った25箇所の再調査を行いました。また、新たに八代市内1路線での被災の有無の確認及び被災箇所5箇所において被災状況調査を行いました。調査結果は第1陣等と同様に被災自治体に報告しています。



地方整備局から派遣された先遣班との情報共有定例会議

4 支援活動

先遣班は、九州地方整備局災害対策室に常駐し、災害対策本部や他の地方整備局から派遣された先遣班との間で活動計画に関する調整作業や被害状況調査班（道路班）との連絡調整に従事しました。

被害状況調査班（道路班）

第1陣並びに第2陣は、熊本県、球磨郡相良村及び八代市の道路39路線における被災の有無の確認及び被災箇所25箇所での被災状況調査を行いました。



①聞き取り調査（八代市）②③被災状況調査（八代市）④被災状況調査（相良村）

帰還後の8月18日（火）には、帰還報告会を開催し、第1陣から第3陣の隊長・班長から被災状況や活動状況等の報告を行うことができました。なお、これまでのTEC-FORCE活動状況は沖縄総合事務局ホームページに掲載しています。

近年では、大規模災害が頻発しており毎年のようにTEC-FORCE活動を行えるよう、装備品の整備や隊員養成のための訓練や講習会等を進め支援体制の充実に努めてまいります。

お問い合わせ先
開発建設部防災課

098-866-11903



相良村の吉松村長（写真中央）に被害状況の調査結果を報告する隊員